キラリ!+ CSR活動 三越伊勢丹様の基幹3店舗の環境配慮を支援しました!

このたび三井住友信託銀行は、三越伊 勢丹ホールディングス様の基幹3店舗に おいて、環境配慮で最高ランクの評価を 取得するお手伝いをさせていただきまし た。対象となったのは、三越日本橋本店、 三越銀座店、伊勢丹新宿本店の3店舗 で、百貨店では初めて「CASBEE(キャス ビー)不動産」と呼ばれる環境性能評価の 認証を取得しただけでなく、いずれも最 高位のSランクを獲得しました。

において最もエネルギーを使い、結果とし て温暖化ガス排出の主要因となっている のは建物で、特にエネルギーを大量に消 費する百貨店やオフィスビルの環境配慮 は急務です。当社は日本の銀行では初め て専門部署を創設し、建物の環境配慮を 促進する業務を推進してまいりましたが、

国が主導するCASBEEについては、その 評価指標作りに携わるとともに、三越伊 勢丹ホールディングス様をはじめとした お客さまの認証取得を支援しています。

今回の認証を取得した3店舗は、省工 ネや節水に組織的に取り組んでいること に加え、いずれも築80年以上ながら計 画的に耐震改修を行って長寿命化を実現 していること、屋上テラスなどで自然に 親しめる環境を創出していることなどが 地球環境問題が深刻化する中で、日本高く評価され、Sランクの獲得に至ったも のです。

> 4月26日には認証授与式が開催され、 大西社長様へ認証書が授与されました。 当社も副社長の服部をはじめ、同社の認 証取得をお手伝いした立場として認証授 与式に出席しました。

当社は今後も「CASBEE不動産」など

の活動を通して、建物の環境配慮を推進 してまいります。



三越日本橋本店



いいね!エコリフォーム 太陽の恵みを生かして、創エネリフォーム

環境への負荷が少ない自然エネルギー として普及が進む太陽光発電システム。 太陽光エネルギーをくらしで使う電気に 換え、余剰分は売電できます。例えば、リ フォームで太陽光発電システム約4kW* を採用された兵庫県Mさま邸の場合、光熱 費の削減額は1年間で2万1千円。売電金 額は1年間で16万9千円になったので、削 減額と売電金額で年間約19万円の経済 効果がありました。

太陽光発電システムを採用された方か らよくお聞きするのが「予想以上の発電量 だった」という声。「発電量をチェックする のが楽しみ」「家族の節電意識が高まった」 という声も多く寄せられています。蓄電シ ステムを導入すると、さらに電気をかしこ く使え、停電時も安心です。

システム設置には、信頼できるリフォー ム会社で建物を診断してもらい、状況に 合ったプランを立てましょう。環境にも家計 にもうれしい創エネリフォームで、電気を自 給自足するエコライフをめざしませんか。



監修:パナソニックリフォーム株式会社

表紙の写真 英国ナショナル・トラスト シシングハースト・キャッスル・ガーデン(英国・ケント州)

美しい自然や歴史的建造物を市民などの寄付によって買い取って守る活動はナショナル・トラストと呼ばれます。 その発祥は19世紀の英国で、同国内の数多くの土地・建物が英国ナショナル・トラストによって管理されています。

グハースト・キャッスル・ガーデンは世界 ロルド卿・ヴィタ夫妻は廃墟同然だったシ シングハーストの土地を買い取り、約30 年かけて建物の修復と庭園造りに共同で にこの庭園をナショナル・トラストに寄贈 取り組みました。

この庭園の特徴は、夫ハロルド卿によ る芝の生け垣やレンガの塀で小さな区画 に仕切られたガーデンルームが連続する

彩の戯れ、香りの陶酔」を基本理念とし、 的な名庭の一つで、イギリス人に最も愛 各ガーデンルームのテーマや色に沿って されている英国式庭園です。1930年、ハ 四季折々の草花があふれるロマンティッ クな庭を造り上げました。

> ハロルド卿はヴィタの没後の1967年 しています。来訪者は、牛け垣やドアを通 るたびに趣の異なる庭が現れる驚きと新 たな発見を楽しむことができます。最大 の見どころは夫妻の愛した白い花々と銀

「イギリスの宝石」と表現されるシシン 設計です。造園を担当した妻ヴィタは「色 葉植物のみで造られたホワイトガーデン で、5~6月が見頃になっています。



情報満載! CSRサイトもご覧ください。 三井住友信託銀行CSR

検索

SuMi TRUST With

2016年度 社会貢献活動 REPORT vol.

写真提供:(公社)日本ナショナル・トラスト協会

SPECIAL TOPIC スペシャルトピック

介護と老人ホーム 介護に備えるということ

~必要な心構えと事前準備とは~

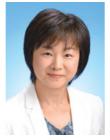
中野支店ロビー展紹介 魅惑のアール・ブリュット



介護に備えるということ ~必要な心構えと事前準備とは~

高齢化の進展で「介護」は私たちの大変身近なテーマになってきましたが、情報が氾濫し、必ずしも正しく理解されているとは言えないのが現状です。そこで今年度のスペシャルトピックは介護と老人ホームを特集し、2015年に介護事業20周年を迎えた、ベネッセグループ様から4回にわたって寄稿いただきます。

第1回目は、ベネッセ シニア・介護研究所 主任研究員の福田亮子様から、 介護に必要な心構えや事前準備について解説いただきました。



ベネッセ シニア・介護研究所主任研究員

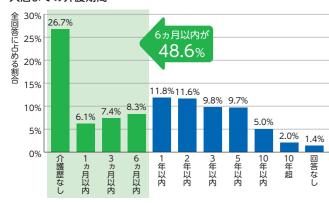
福田 亮子氏

2015年11月に設立された当研究所では、介護現場に蓄積されたさまざまなノウハウやデータを体系化し、各種取り組みの効果検証や科学的な裏付けに取り組み、業界のレベルアップ・イメージ向上を目指している。

介護は突然やってくる

ベネッセ シニア・介護研究所が、2015年に有料老人ホームのご入居者およびご家族を対象に行った「介護に関する意識調査」によると、ホーム入居にいたるまでの自宅での介護期間は「(介護歴)なし」の26.7%を含む約半数の48.6%が6カ月以内という結果でした。また、入居の経緯は、けがや病気等により介護サービスが急に必要になったケースや、加齢や認知症に伴う急激な変化が生じたケースが多く、これらには独居されている方の離れて暮らすご家族が、変化に気付いていなかったケースも含まれます。いずれにしても、このように「介護が突然やってくる」場合、入居先の決定に十分な検討時間が取れないのが現状です。

入居までの介護期間

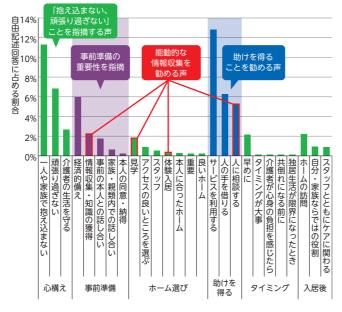


介護に向けた備え

調査では、ご自身の体験を踏まえ、これから介護を迎えられる方へ「介護に対する向き合い方」についてどのようにアドバイスするか自由記述でご回答いただきました。その結果、心構えとして「一人や家族で抱え込まない」「頑張り過ぎない」などを指摘された方が目立ちました。介護においては、何より外部の助けを得ることが重要です。特に介護サービスの利用を勧める声が多くを占めました。

また、事前準備の重要性を指摘する割合も高く、中でも経済的な備え、すなわちお金に関する備えが重要視されています。一方、「情報収集・知識の習得」「見学」「人に相談する」など能動的に情報収集することを勧める声も多く聞かれました。 突然やってくるからこそ、介護に備え積極的な姿勢が必要だと考えられます。

介護に対する向き合い方(抜粋)

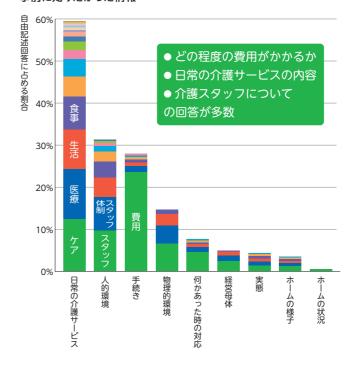


老人ホームに関する情報について

それでは、老人ホームを検討する際に知っておくとよい情報は何でしょうか。多くのご家族は、どの程度の費用がかかるかということに加え、ケアや医療から食事、生活全般に至るまでの日常の介護サービスの内容や、介護スタッフに関する情報が重要と回答しました。老人ホームの事業者はパンフレットやホームページなどでさまざまな情報発信をしていますが、必要とされている介護サービスはご入居者により異なりますし、どのようなスタッフが介護サービスを提供しているかは、こうした情報だけですべてを把握できるわけではないのが現状です。

他方、実際にホームに出向きスタッフと話をすることで、より具体的な情報を入手したり、ご入居者・ご家族がお持ちのイメージに合っているかどうかを確かめたりすることができます。また、そこで入居されているご本人やご家族など、すでに介護を経験している人の生の声を聞くこともできます。介護の受け手側からの情報も、考える上で大いに助けになります。ホーム選びの際に見学や体験入居を勧める意見が多いのは、そうした現状を反映したものだと考えられます。

事前に知りたかった情報



欲しいのは生活提案

このように、老人ホームを検討する際に知りたかった情報は、 費用面を除けば、入居後も生活の満足度が相応に維持できる かという、定性的で比較が難しいものが多かったと整理するこ とができます。つまり、入居者側は、現在介護事業者が提供して いるスペック情報(費用や人員体制、設備、特定サービスの有無 等)だけでなく生活提案を求めており、そこに一種のギャップが 存在しているとも考えられます。

しかし、介護が突然やってきて急遽施設選びをしなければならない状況では、事業者が生活提案を行っても十分納得することは容易ではありません。また、当然ながら介護保険などを利用し、ご自宅で公的な介護サービスを受けるという選択肢もあります。介護に備えるということは、まだお元気なうちからこうした選択肢を頭に入れ、積極的に情報を収集し、いざという時にどうするか心を固めておくということに他なりません。

ベネッセスタイルケアでも介護や医療をはじめとしたさまざまなテーマのセミナーを年間1,300回開催しております。どうぞ、お気軽に足を運び、皆さまの備えを万全なものにしてください。

アール・ブリュット

Art Brut [アール・ブリュット] とは

「アール(Art)」は「芸術」、「ブリュット(Brut)」は「磨かれていない」「(加工されていない)生のままの」という言葉を表すフランス語で、画家のジャン・デュビュッフェが1945年に考案した概念です。正規の美術教育を受けていない人々が伝統的な文化や社会の潮流に流されることなく、独自の発想と方法により制作した作品のことを指します。

澤田氏が粘土による創作を始めたのは知的障がい者の通所施設に通い始めた2000年頃からです。施設では週3~4日程度電気部品の組み立て作業に従事し、創作は春から秋の期間に週2~3回、山奥にある窯場(アトリエ)にて行っています。

澤田氏は作品の完成形が見えているかのように、止まることも迷うこともなく細く長い指で淡々とトゲをひとつひとつ付けていき、大きい作品でも3~4日で仕上げてしまいます。その躊躇のない創作は神秘的にさえ見えるほどです。完成した作品は6カ月間から長いもので1年間乾燥させた後、窯にて焼くこととなります。薪を1年がかりで蓄え、施設のスタッフが年に1回、作品を焼く窯入れを行っています。



作者 澤田 真一 Shinichi Sawada

(1982年生まれ 滋賀県在住)

時とともに澤田氏の作品はトゲの緻密さや創作する形象などが変化を続けていますが、次にどのように変化するかは本人以外誰にも分かりません。しかし、多様なものがあふれる現代社会において、観る者にモノが創生される驚きや人間が創造する無限の可能性を伝えてくれます。

2008-2009年「JAPONJ展/アール・ブリュット・コレクション(スイス/ローザンヌ)

2010-2011年 「ART BRUT JAPONAIS]展/アル・サン・ピエール美術館(フランス/パリ)
2012-2013年 ヨーロッパ巡回展「Art Brut from Japan]展/ドルハウス美術館(オランダ/ハールレム)、ウェルカム・コレクション(イギリス/ロンドン)

2013年 第55回ベネチア・ビエンナーレ国際美術展

2013年 第55回ペネナア・ヒュノアーレ国際美術版 2014年 日本・スイス国交樹立150周年記念事業「ART BRUT JAPAN SCHWEIZ」展 /ラガーハウスミュージアム(スイス・ゲンクトガレン)

中野支店はアール・ブリュットを応援しています!

中野区では、毎年1~3月に複数の会場で「アール・ブリュット展」が開催されます。

これは、指定障がい者支援施設「メイプルガーデン」等を運営する社会福祉法人愛成会が中心となり、地元商店街と協働して開催しているものです。

愛成会は1958年の設立以来、施設入所支援をはじめ生活介護や就労継続支援、相談支援などの事業を展開するほか、2011年からは障がい者の理解啓発と多様な 人々の社会参画を目的に、日本のアール・ブリュット作品を国内外に発信する活動に力を入れています。

中野支店は地域の一員として、愛成会のアール・ブリュット啓発活動を応援しており、後援や継続的なロビー展を通じて地域への情報発信のお手伝いをしています。 澤田真一氏の作品は、6/1(水)~7/29(金)の期間中、中野支店ロビーにて展示予定です。お近くにお越しの際は是非、ご覧ください。

.....

社会福祉法人 愛成会 ▶ http://www.aisei.or.jp/ 中野支店ブログ ▶ http://branchblog.smtb.jp/kanto/tokyo/nakano/

今後の連載予定

第2回 老人ホームの選び方

第3回 介護とお金

第4回 老人ホームのサービスとは